

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12 月 14 日
事業所名:	夢門塾神石高原

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	2	3	・各部屋の使い方を見直し、安全に過ごせる環境を作っていく。 ・運動ルームで学習をすることで、広く静かに学習する環境を作っている。
	②	職員の配置は適切である	3	1	1	・安全を十分に配慮し運営できるよう努めて参ります。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	0	0	・細やかな掃除、消毒を心掛けている。 ・事業所や送迎車内も、定期的に消毒するよう心掛けている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	・業務が一部の職員に偏らないように役割分担をし、必要に応じて見直している。 ・行事企画書を確認し、改善点について話し合っている。 ・スポット利用の声掛けなどを全職員が関わって実施している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	3	2	0	・毎年11月に全利用者に評価表を配り、集計後、ミーティングにて共有している。保護者様の意見を取り入れながら、業務改善に努めていく。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	1	0	・ホームページで公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	1	0	・毎月の夢門塾全体研修の日は、勤務調整をして参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	0	0	・職員間で情報共有や話し合いを行い、児発管が聞き取りを行いモニタリングをして計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	0	0	・児童指導員で話し合いながら活動の計画を立てている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	0	0	・季節を意識した行事や、外出行事を取り入れている。 ・他事業所の実践も参考にしながら、工作やクッキング、SSTなど、日常生活に必要な課題に取り組んでいる。 ・同じイベント、行事でも前回の反省を生かしバージョンアップさせている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	0	0	・プログラムのねらいを行事ごとで考え、職員間で共有し実施している。 また、様々な体験ができるように工夫をしている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	1	0	・集団活動を中心にしながら、利用者様に合わせて気持ちの切り替えが出来るよう別室で対応もしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	・毎朝の朝礼後、ミーティングを行っている。その日の支援内容や役割も話し合っ決めていく。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	・その日の記録を文書として記録に残している。次の支援の改善に役立てよう、見返している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・受給者証更新月に間に合うように、モニタリング日を調整している。 ・年2回は必ずモニタリングを実施している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	0	・夢門塾の三本柱や五領域を意識しながら支援や行事の計画を立てている。 ・毎月、偏りがないように、また季節に配慮しながら出来るだけ多くの活動をしている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	0	・6～8月に来見小学校、三和小学校、油木小学校、豊松小学校、神石小学校を訪問、利用者様全員の情報共有を行った。 ・毎月、夢通信(行事予定表)を持って行ったり、学校から毎月、下校時刻表いただいている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	2	0	・保護者様や児童発達支援施設、相談支援員様から情報を共有していただき同じ方向で支援ができるようにしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	2	1	・該当する利用者様がない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	・専門機関の研修は受けていないが、様子が気になる子は相談支援専門員を通して連携を取るようにしている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	0	0	・送迎時やコドモンにて、子どもの様子を伝え共有している。 ・課題についても気になる事はすぐ対応するようにしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時に管理者が伝えている。利用開始後に不明点が出てきた場合は連絡をいただくようお願いしている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	1	0	・必要な場合には相談支援専門員やご家族様と情報共有の時間を設けている。 ・ご家族の不安感などをお聞きしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	・11月4日、23日家族会を行った。ミニ運動会、スライドショー、懇親会を行った。開催日を改めたり、改善が必要と思う。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・苦情があれば迅速に対応し、お詫びと改善策をお伝えするよう心掛けている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	0	0	・毎月、「夢通信」や「ゆめだより」を配布し、文章や写真で活動内容のお知らせをしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	0	0	・鍵付き書庫で保管している。 ・配布物に使用する写真は、利用者様の許可をいただいた方のみに限っている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	・利用者様に合わせて目印のシールや視覚支援を用いている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4	1	0	・神石で来見館ゆめまつりを開催し、地域住民に多くの方に参加していただいた。 ・地域のフリーマーケットに出店をした。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	0	0	・年2回、やまびこ来見館と合同で消防訓練を行った。 ・子どもたちと災害について学ぶ活動を行った。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・会社の研修は必ず受けている。 ・研修への参加、アンケートの記入などで振り返りをしている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	0	0	・身体拘束の該当者はいない。 ・利用者の感情が高ぶって他害が起きそうな時は、クールダウン室に移動するよう促している。保護者様にその日あったことを報告している。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	0	0	・定期的な投薬はないが、薬がある際には薬の種類、投薬時間、回数を職員に伝えていただくようお願いし、職員間で共有を行っている。投薬時間等は連絡ノートに記載する。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	2	1	・ヒヤリハットの記入が少ないので、少しの気付きも記入し共有すれば後で大きな事故に繋がらないことを意識して取り組んでいく。 ・ヒヤリハットを積極的に報告する
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の意見を真摯に受け止め、出来る所から改善し、保護者様から安心していただける事業所を作っていきます。 ・学校や役場などの関係機関などと密に連携をしていき、利用者様の成長に繋げていきます。 ・家族会の日時や内容を再検討していき、保護者様同士、交流しやすい場の提供、安心できる場所になれるよう努めていきます。 ・今後も安心してご利用して下さるよう、職員同士で支え合い、楽しく通所いただける事業所になれるよう努めます。 						